



## 目的

安全・安心、環境を中心とした社会課題解決への貢献を目指し、車と周囲環境(\*)との協調によるシステム・サービスの戦略立案・ロードマップの作成を行うとともに、実証実験・社会実装・普及を推進することを目的としています。

\* インフラ、移動体(他車、人)



## 活動概要

- ✓ 社会実装に向けた“協調型ITSサービス普及ロードマップ”を作成してまいります。
- ✓ 既存のITSサービスの普及や新たなITSサービスの検討を行っています。
- ✓ 技術・法制度・ビジネス性等の観点から提言、知財・標準化などの検討を行っています。
- ✓ 次期ITSサービスの具体的なプロジェクトの推進を行っています。

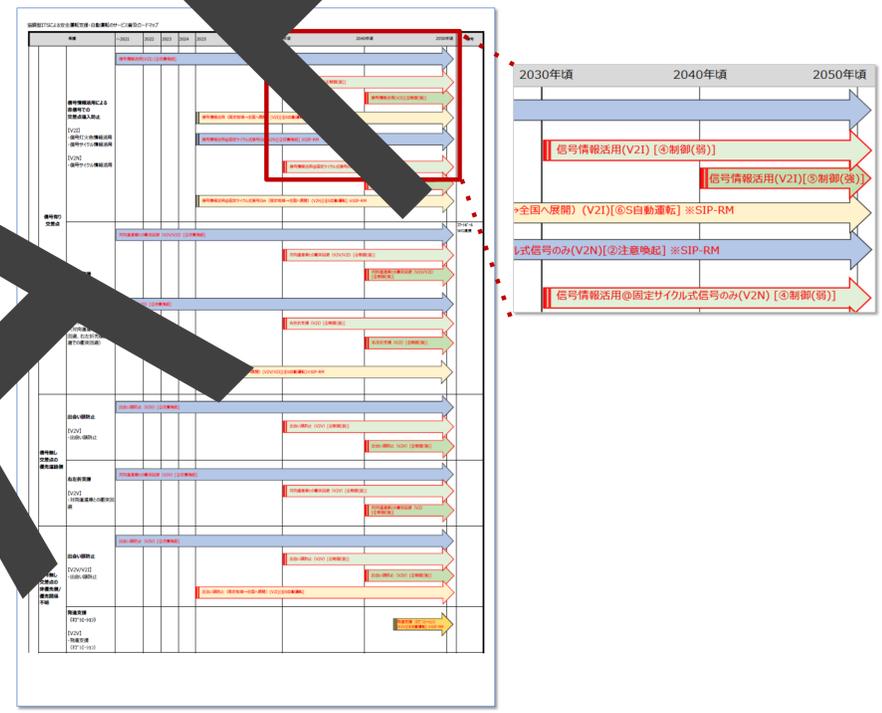
協調型ITS委員会は、ITS関係府省庁やITS関連団体への渉外的活動を担うワーキンググループ(WG)と2030年～2040年代の将来のITSサービスを企画するWGをもつ**協調型ITS普及促進分科会**と、具体的になっている2つの次期ITSサービスを着実に社会実装につなげるための**サービス実用化分科会**の2つがあります。

### <協調型ITS普及促進分科会>

社会実装に向けた“協調型ITSサービス普及ロードマップ”の作成  
 V2Nを活用した交通弱者対応や交通流の円滑化などを中心以外も  
 外もスコープに含めた協調型ITSサービス普及ロードマップ(図)  
 の作成を行っています。(普及促進戦略WG)

既存ITSサービスの普及、新ITSサービスの検討  
 新たなITSサービスの企画と具体的な策定、WGの設置に向けた  
 検討を行っています。  
 (新ITSサービス企画WG、サービス実用化分科会と連携)

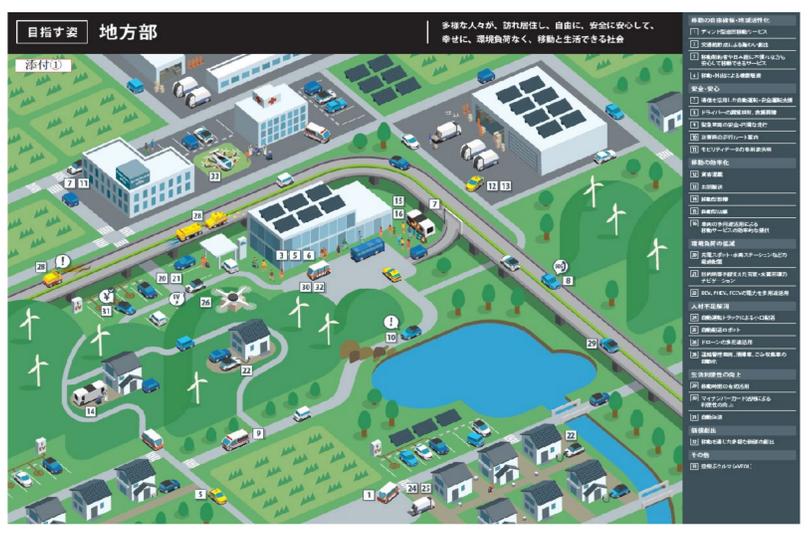
技術・法制度・ビジネス性等の観点からの提言作成  
 作成した協調型ITSサービス普及ロードマップに基づく提言の作  
 成、他の委員会や自工会、ITS関連団体等との連携を進めていま  
 す。(普及促進戦略WG、ITSスマートボール・インフラWG)



協調型ITSサービス普及ロードマップ (普及促進戦略WG)

## 2025年提言

- 【提言事項】...の策として実施いただき...
1. ...なる普及の実現
    - 1.1 信号情報に基づく検知情報の提供
      - (1) 事故ゼロに向けたインフラ整備に関する提言
      - (2) 安全運転支援のための自動運転の社会実装に向けたインフラ整備に関する提言
      - (3) 右折/出会い頭等の危険回避に関する提言
    - 1.2 自動車専用道路における支援に関する提言
    - 1.3 自動車専用道路における情報提供に関する提言
    - 1.4 緊急車両へのITS無線機に関する提言
  2. ITSの進化・発展の実現
    - 2.1 ITSスマートボール社会実装推進の提言
      - (1) 自動運転支援インフラと一般車両安全運転支援インフラの連携と社会実装推進
      - (2) ITS路側機を設置・運用できる主体の拡大
      - (3) 大規模災害時の支援システムの実現に向けた仕様検討の推進
      - (4) 自転車等小型モビリティ用通信端末の普及促進支援
    - 2.2 協調型ITSによる安全運転支援・自動運転サービスの普及に向けた取組の推進
      - (1) 協調型ITSサービス普及ロードマップの策定検討への活用
      - (2) 協調型自動運転における車両/インフラの役割分担
      - (3) V2X/V2Nデータの多面的な活用のための基盤
      - (4) V2Nを活用した対交通弱者事故削減に向けた官民での検討
- 【提案事項】(官民で一緒に検討させていただきたいこと)
1. ITS/モビリティの将来に向けて
    - 3.1 社会実装につなげるための官民連携体制「官民将来像検討TF」の継続の提案と施策への反映
    - 3.2 社会課題解決に向けた移動データ統合・実装の検討



### 協調型交差点イメージ (2030年頃)

広域 クラウド活用

狭域 V2X (直接通信) 活用

信号情報 (灯色/秒数) 活用・右折時衝突回避

見通し外での出合頭事故回避

信号あり交差点

信号なし交差点

### クラウドを活用したユースケース例

安全な歩行者 (歩行者用V2I)

歩行者用V2I (歩行者用V2I)

歩行者用V2I (歩行者用V2I)

### クラウドを活用したユースケース例

歩行者用V2I (歩行者用V2I)

歩行者用V2I (歩行者用V2I)

歩行者用V2I (歩行者用V2I)

## <サービス実用化分科会>

### 具体的なプロジェクトの推進

路車協調システム(スマートポール、踏切通行支援等)のユースケースの要件定義や社会的インパクトを整理し提言としてとりまとめています。また政府・関連団体・関係各社と連携し、社会実装に向けた課題を整理し、政府のITS関連プロジェクトへの積極的な提案活動を継続しています。  
(踏切通行支援システム検討WG、ITSスマートポール・インフラ検討WG)

## 踏切通行支援システム検討WG活動

### 限界支障\*防止支援システム

- 踏切先詰まり防止及び踏切道内滞留防止を目的にETC2.0等を活用した実証実験と社会実装の課題解決

### 長時間遮断対策(迂回支援)

- 自動車ボトルネック踏切を対象に迂回支援方式の検討とドライビングシミュレータによる評価試験

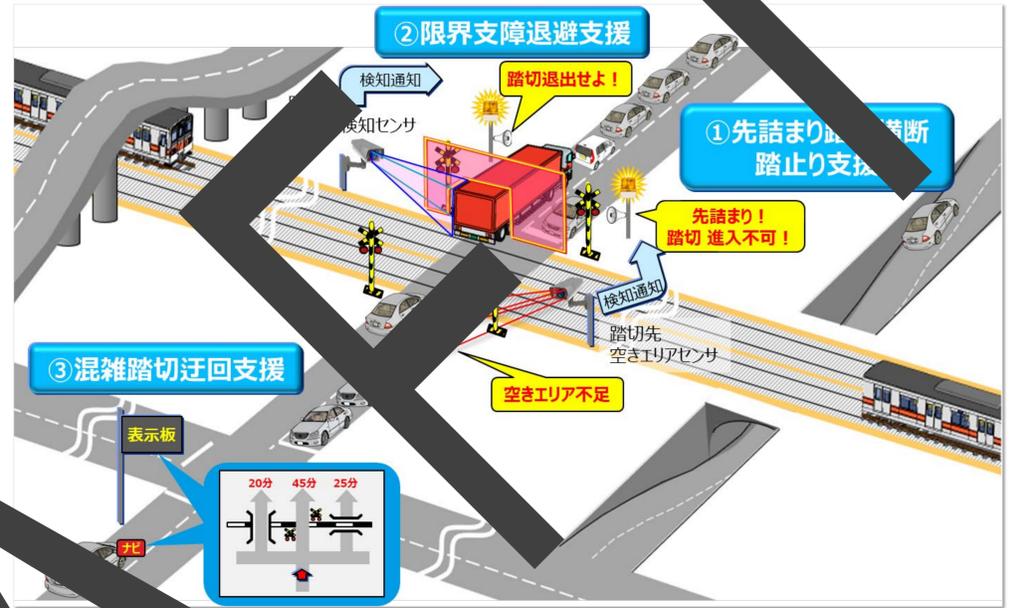
### 歩行者など交通弱者対策

- SIP第3期「リスクの事前通知による交通事故の未然防止支援の研究開発」の踏切ユースケースへの協力

### 自動運転の踏切通行

- 踏切通行がある自動運転実証実験の調査と、関連ステークホルダーなどへのヒアリング調査

\*自動車等が列車等と接触する限界を誤って支障停止し、列車等が接触したもの



踏切通行支援システム検討WGで検討しているユースケース

## ITSスマートポール・インフラ検討WG活動

### スマートポール仕様検討SWG

- ガイドライン(ユースケース・仕様)の作成・公開
- クラウド経由での機能追加の検討
- 道路状況収集システム検討
- サイバーセキュリティ対策検討

### 自転車事故削減検討SWG

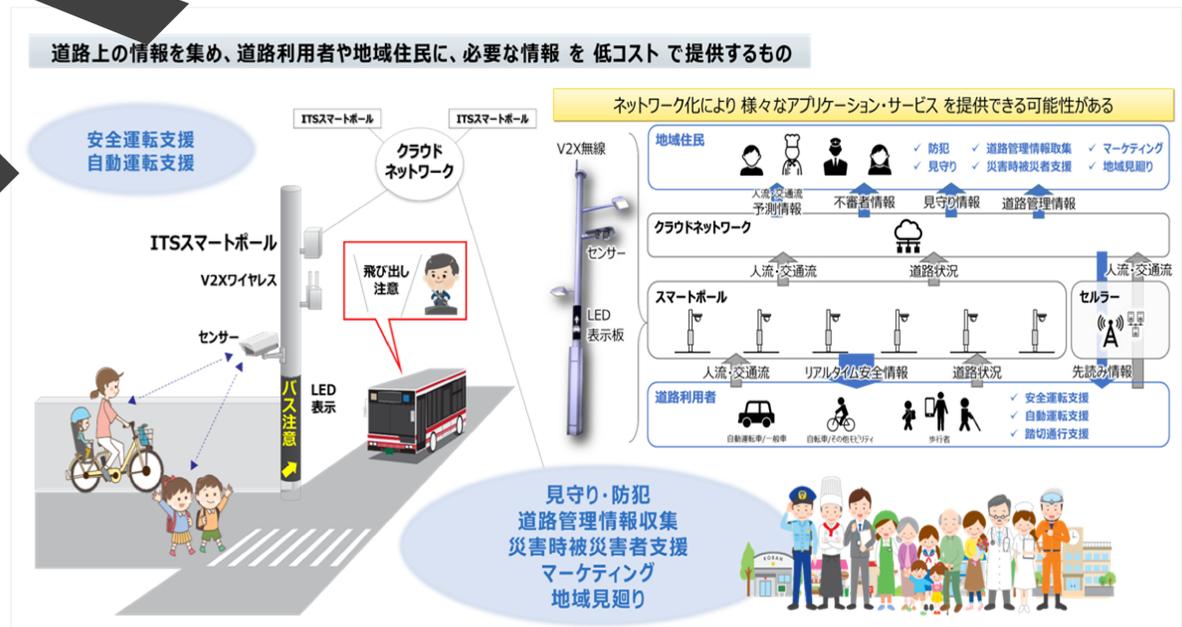
- 自転車ライディング通知ガイドライン作成

### 国際展開活動SWG

- 国際会議AWGLレポート作成対応
- ITS世界会議への展示

### インフラ運用・維持管理TF

- 設置に係るガイドラインの作成



ITSスマートポール・インフラ検討WGで検討しているユースケース

